

笑顔と涙でお別れ

～ 仁賀保高校卒業式 ～



3年間の思い出と卒業証書を胸に

3月1日、仁賀保高校（加藤高行校長）で卒業証書授与式が行われ、143名（普通科110名、情報メディア科33名）が卒業証書を授与されました。

式典では、卒業生を代表して佐藤毅幸さんが、「伝統ある仁賀保高校は、生徒みんなで手をとりあい、互いに協力し合う、絆の深い学校であってほしい」そして、ひととき大きな声で「本当にありがとうございました」と力強く答辞を述べました。式後、最後のホームルームでは一人ひとりが、クラスメートや恩師に感謝の言葉を述べるなど、笑顔と涙で最後の別れを惜しんでいました。

- さまざまな教育文化活動において、顕著な功績があった学校の児童・生徒を表彰しています。平成22年度の受賞者は次のとおりです。（順不同）
- 田中 伶音さん（象潟小学校3年）
 - 須藤 莉生さん（金浦小学校6年）
 - 竹島 幸乃さん（象潟小学校2年）
 - 三船 麗奈さん（平沢小学校5年）
 - 鈴木 晃さん（仁賀保中学校3年）
 - 進藤 仁那さん（仁賀保中学校1年）
 - 鈴木 陽子さん（仁賀保中学校3年）
 - 高橋 七七さん（仁賀保中学校3年）
 - 上郷小学校サイエンスクラブ
 - （齋藤爽彩さん、吉川裕哉さん、佐々木眞世さん、近藤皓介さん、齋藤誠真さん）
 - （自然科学観察コンクール オリンパス特別賞）
 - 金浦中学校・クラリネット四重奏
 - （小熊佳那さん、佐々木洗輔さん、大場美穂さん、佐々木優莉さん）
 - 金浦中学校・サクソフォン四重奏
 - （佐々木千裕さん、佐藤もえさん、須藤菜穂子さん、佐々木なのはさん）
 - （以上、全日本アンサンブルコンテスト 秋田県大会 金賞）

にかほ市教育委員会表彰

パパとママの愛情がいっぱい

～ 入園・入学準備かばん作り教室 ～



2人協力して作る絵本バック

2月26、27日、仁賀保公民館で、保育園や小学校などの新入園・入学児のためのかばん作り教室が開催されました。市内から30名ほどの母親らが参加し、園・学校生活に必要な品々の製作に取り組みました。

指導に当たったのは、市内で手芸店を営む佐々木和子さんとボランティアの「パッチワーク布遊」「サークル朋」の皆さん。参加者は、いろいろな布地を組み合わせるなど工夫を凝らし、手ほどきを受けながらミシンかけなどに励んでいました。子育てサポートかざぐるまの皆さんによる託児サービスも大変好評でした。

明るく住みよい社会を目指し

～ 女性のつどい ～

3月6日、仁賀保勤労青少年ホームを会場に、市女性団体協議会主催による女性のつどいが開催され、加盟8団体の会員や一般参加者など約240名が参加しました。

講師にシンガー・ソングライターの津雲優さんを迎えた基調講演では、「音楽活動に於いての楽しさと難しさ」と題する講演が行われ、自らの体験などをユーモアたっぷりに語り、聴衆の笑いを誘っていました。また、聞き覚えのあるCMソングや大曲の花火で流れる「いざないの街」など、キーボードを演奏しながら披露し、すてきな歌声で聴衆を魅了していました。



キーボードを演奏しながら

スポーツから得たものを今後に

～ スポーツ少年団修了式 ～

卒業式を控えた3月5日、にかほ市スポーツ少年団修了式が、仁賀保勤労青少年ホームで行われました。小学6年の団員、男子95名、女子63名、計158名にスポーツ少年団修了証が授与されました。

本部長あいさつと来賓祝辞に続き、各少年団から選出された団員が活動発表を行いました。指導者や保護者、地域への感謝や、チームメートとの思い出などが発表されました。ことしは中学から大学生までの、スポ少リーダー会のメンバー10名が式典の運営をサポート。後輩たちの門出を温かく見守っていました。



修了証授与「がんばったね」ニカホWin-s

寄付・寄贈など 豪雪への見舞金

● 秋田銀行から15万円

雪害対策に追われた県内各市町村へ、秋田銀行の管理職組織・同志会と職員組合から見舞金が贈られました。同行内で寄付を呼びかけていたもので、対策本部や警戒部を設置した12市町村へ、計165万1600円が寄付されました。本市には2月22日、若狭象潟支店長が来庁し、15万円の目録を市長に手渡しました。

秋田県高校体重大別柔道選手権大会

▼ 女子63kg級
【優勝】越川あゆみさん
（本荘高校2年・十二林2区）

▼ 女子48kg級
【第3位】今野亜未さん
（仁賀保高校1年・大竹2区）

▼ 女子団体

【第3位】佐々木海帆さん
（鍊心館工藤道場・金浦中学校2年・岡の谷地2区）

第25回柔整旗争奪全県選抜小・中学校柔道大会